

厚生労働省指針13物質
文部科学省基準6物質
非配合

F★★★★

低臭

コンクリート・モルタル油泥床水系下塗り材

フロン水系油面用プライマー

油のブリードを遮断します。

用途

油が付着、浸透しているコンクリート・モルタル床・機械工場・修理工場・食品工場

製品仕様

セット内容	容量			外観		
	主剤	硬化剤	パウダー	主剤	硬化剤	パウダー
7.5kgセット	1.5kg	3kg	3kg	白色粘稠液	褐色粘稠液	灰色骨材
2.5kgセット	0.5kg	1kg	1kg			

硬化促進剤

※温度域毎に硬化促進剤をご用意しております。
施工時の気温に合わせたものを必ずご使用下さい。

品名	容量	外観	標準塗装面積
フロン水系 油面用プライマー 硬化促進剤	0.9kg	淡緑色液体	0.3kg/m ² ×1回塗りで28m ²
	0.3kg		0.3kg/m ² ×1回塗りで9.3m ²

※標準使用量の0.3kg/m²を必ず守って下さい。塗布量が少ない場合、性能が低下します。

可使用時間と上塗り可能時間

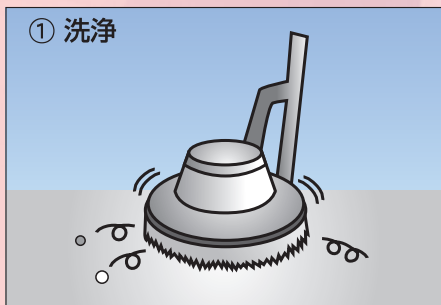
	5℃	10℃	15℃	23℃	30℃	35℃
硬化促進剤タイプ	冬型	冬型	春秋型	春秋型	夏型	夏型
可使用時間(分)	15	10	15	10	15	14
上塗り可能時間(時間)	5~24	4~24	4~24	2~24	3~24	3~24

※温度域毎に硬化促進剤をご用意しております。施工時の気温に合わせたものを必ずご使用下さい。

※この時間帯は温度、使用量、換気状態によって変化しますのでご注意ください。

ご使用方法

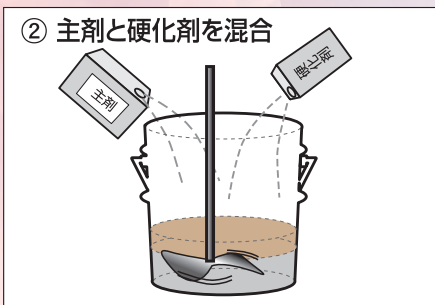
① 洗浄



施工面の油泥を除去し、フロンオイルクリーナーにて2回以上洗浄し、乾燥させて下さい。

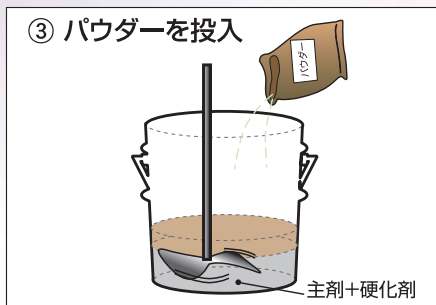
※フロンオイルクリーナーの使用法についてはカタログをご参照下さい。

② 主剤と硬化剤を混合



主剤と硬化剤をベール缶内にあけ混合、電動攪拌機にて充分攪拌する。

③ パウダーを投入



②にダマにならない様に攪拌しながらパウダーを投入。容器内壁についたパウダー等はゴムベラでかき落とし、さらに攪拌する。(攪拌時間の目安：2分間)

④ 硬化促進剤を添加

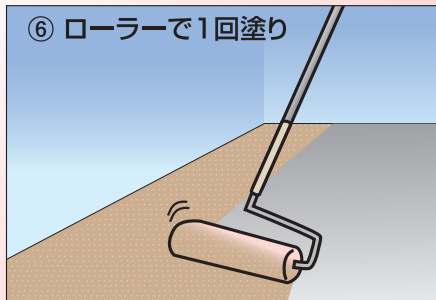


攪拌しながら硬化促進剤を混合、さらに1分程度まんべんなく攪拌する。

⑤ 攪拌終了後、速やかに床面に
流し延べる



⑥ ローラーで1回塗り



⑤をローラーで均一に塗り広げます。

標準塗布量0.3kg/m²×1回塗り

※使用量が少ない場合、性能が低下します。



東日本塗料

■旧塗膜への付着性

旧塗膜	研磨無	研磨有	旧塗膜	研磨無	研磨有
フローン55・50	○	○	フローンアクアエポ	○	○
フローンエポローラー	○	○	フローンヌルサット	○	○
フローンフルトップ	○	○	パワフルフロアーII	○	○
フローン22	○	○	フローンアクアファースト	○	○
AUコート	○	○	ハイフローン	×	○
ソルエボ90	○	○	水性フロアー	×	○
エポエース	○	○			

■上塗り適性

上塗り塗料	適性	上塗り塗料	適性
フローン55・50※2	○	ソルエボ90	○
フローンエポローラー※1	○	エポエース	○
フローンフルトップ※2	○	フローンアクアエポ	○
フローン22※2	○	パワフルフロアーII	○
AUコート	○	フローンアクアファースト	○
フローンヌルサット	○	ハイフローン	○
		水性フロアー	×

※1 フローンエポローラーは、フローン水系油面用プライマーの反応ガスの影響を受けやすい為、仕上がりが不良になる恐れがあります。十分に乾燥させてから上塗りを行って下さい。(目安:12時間以上)

※2 厚膜材を上塗りする際は、ピンホール防止の為、フローン砂砂7号を混合しシゴキ塗りを行って下さい。

フローン水系油面用プライマー 施工上のご注意




1. フローン水系油面用プライマーは室内温度・床面温度が5℃以下、又は室内温度・床面温度が35℃以上、湿度80%以上では施工しないで下さい。硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に大きく影響されます。

5℃以下	15℃～25℃	30℃以上
硬化後退 (カブリ、しわ、軟化等発生)	最適	硬化促進 (ポットライフ短縮)

- 水分の影響によりフクレ、硬化不良、密着不良を招く場合があります。洗浄後は充分乾燥させて下さい。含水率が高周波水分計ケット社製 HI-500・HI-520で測定し、コンクリートレンジの表示値5%以下が目安となります。
2. フローン水系油面用プライマーは、反応硬化型ですから、可使時間に制限があります。施工時の温度、施工面積、作業人員等を考慮して、無駄のないように材料を配合して下さい。
 3. ご使用になる環境を充分考慮して、適正な材料と施工法を決定して下さい。
 4. 施工時の温度に適した硬化促進剤を選定して下さい。
 5. 硬化剤は、空気中の湿気と反応する性質となります。開缶後は、すみやかに使い切して下さい。
 6. 混合手順を順守し、必ず電動攪拌機で攪拌を行って下さい。棒などによる手攪拌は絶対に行わないで下さい。また、骨材や硬化促進剤は攪拌しながら投入して下さい。
 7. 主剤・硬化剤・骨材は直前に混合し、練り置きはしないで下さい。
 8. 攪拌終了後、容器内に材料を放置すると、急激な発熱により発煙する恐れがありますので、事前に坪取りを行い、攪拌終了後は速やかに材料を撤き、施工して下さい。万が一発煙した際は、冷水を注ぎ、冷却して下さい。

9. 塗継ぎは10分以内に行ってください。仕上がりがムラの原因になります。
10. 缶に残った材料は、次の材料に混合しないで下さい。ポットライフが短くなります。
11. 標準使用量以上を塗布した施工を行うとフクレの発生、経時による塗膜の反り等の塗膜異常が発生する恐れがあります。
12. 良好な作業性や仕上がりを得るためには、ハイパイルローラー(推奨ローラー:Wonder, PEACH)の使用をお勧めいたします。
13. 長時間施工しますとローラーが固まってしまう為、使用するローラーは、30～50㎡毎に交換して下さい。
14. フローン水系油面用プライマーの上塗り可能時間は、施工時の温湿度や換気状態によって変化します。十分に乾燥していることを確認してから上塗りを行って下さい。乾燥が不十分な状態で上塗りを行うと、フクレの原因となります。
15. 施工時には引火、爆発、中毒等の事故防止のため、十分に換気し、有機ガス用防毒マスク、保護メガネ、保護手袋等、保護具を着用して下さい。発火原因となる電気溶接、ガス溶断との並行作業を避けて下さい。
16. 材料の保管、取扱いについては消防法、労働安全衛生法、その他に基づき、十分な管理を行って下さい。また直射日光を避け、水に濡れないように屋内に保管して下さい。
17. 直接皮膚に触れないよう十分に注意して下さい。もし触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り中性洗剤で洗って下さい。
18. 開缶後は、速やかに使い切ってください。貯蔵する場合は、直射日光を避け、乾燥した冷暗所に保管して下さい。
19. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行ってください。
20. 容器、使い残しの塗料を廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物業者と委託契約して処理して下さい。

●フローン水系油面用プライマー

引火性あり	警 告	有害性あり	感作性あり
	1.引火性の液体である。 2.有機溶剤中毒の恐れがある。 3.健康に有害な物質を含有している。 4.皮膚に付着するとかぶれを起こす恐れがある。		
業務用	<注意事項>1.通常の塗料に比べて幾分毒性が強く、吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれ、また、重い健康障害を起こす恐れがありますので、取り扱いについては、 容器に表示された注意事項を守って下さい。 2.アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏感症や呼吸器系疾患を有する人は、取り扱いを避けて下さい。 (呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) ※詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。		

●お問い合わせは……

東日本塗料株式会社



本 社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063
 北海道出張所 TEL.03(3693)0851 FAX.03(3697)2306



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。

URL <http://www.hnt-net.co.jp>

CATALOG NO.2 '19.11.3000